

(仮称)門真市立第四中学校区義務教育学校

基本設計図書 概要版

2023年 3月 株式会社石本建築事務所

目次

基本設計図書概要版

◇表紙

◇目次

1. 計画概要

- 1. 全景イメージ 001
- 2. 計画概要・敷地案内図 003
- 3. 計画コンセプト図 004

2. 建築意匠計画

- 1. 配置計画 005
- 2. 平面計画 006
- 3. 立面計画 010
- 4. 断面計画 012

1-1. 全景イメージ



全体鳥瞰イメージ

1-1. 外観イメージ



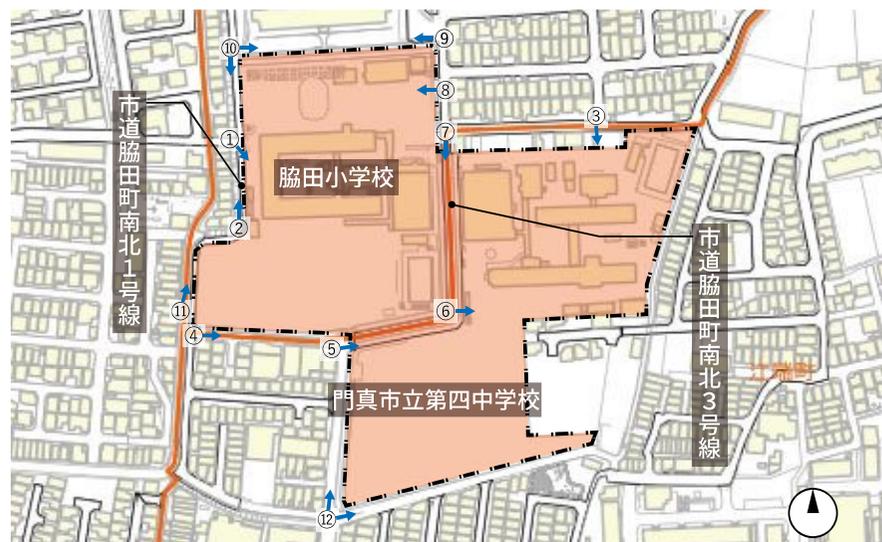
校舎外観イメージ南東より見る

1-2. 計画概要・敷地案内図

■計画概要

施設名称	: (仮称) 門真市立第四中学校区義務教育学校
所在地	: 西敷地 (大阪府門真市脇田町4-1) (新校舎) / 東敷地・公園 (大阪府門真市江端町3-1) (グラウンド)
敷地面積	: 西敷地 (16,355.88 m ²) / 東敷地 (19,711.32 m ²) / 公園 (1002.06 m ²)
用途地域	: 西敷地 (第一種中高層住居専用地域・準防火地域) / 東敷地・公園 (第二種中高層住居専用地域・準防火地域)
日影規制	: 4H / 2.5H (測定面 4m)
容積率/建蔽率/高度地区	: 200% / 60% / 指定なし
施設用途	: 小中一貫校 (学校教育法第1条による義務教育学校)
階数	: 地上4階
構造	: 校舎棟 鉄筋コンクリート造一部プレキャストコンクリート造及び鉄骨造 屋内運動場・給食調理場棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 放課後児童クラブ・地域協働ラボ棟 鉄骨造
建築面積	: 校舎棟 4,907.67 m ² 屋内運動場・給食棟 2,259.28 m ² 放課後児童クラブ・地域協働ラボ棟 739.24 m ² ・部室棟 425.40 m ²
延床面積	: 校舎棟 14,606.85 m ² 屋内運動場・給食棟 2,507.99 m ² 放課後児童クラブ・地域協働ラボ棟 1,063.83 m ² ・部室棟 378.20 m ²
最高高さ	: 校舎棟 20.6m 屋内運動場棟 10.8m 放課後児童クラブ・地域協働ラボ棟 9.6m 部室棟 8.7m
グラウンド面積	: メイングラウンド 8,711 m ² サブグラウンド東 5,253 m ² テニスコート 1,857 m ² サブグラウンド西 2,000 m ² 遊具コーナー 301 m ²

■敷地周辺概要



■敷地案内図



1-3. 計画コンセプト

■メインコンセプト

「教育からまちを変える」まちづくりこどもたち・地域の人たちと「縦・横のつながり」を創出し、リーディングモデルとなる学校

→「学校づくりはまちづくり」かどまの未来をつくる小中一貫校のモデルを実現します。

・門真市はじめての小中一貫校（義務教育学校）として門真の未来を担うこどもたちの学び舎を、住みたくなるまちづくりへの新たな門出となる拠点として実現します。

・門真市のめざす教育「人とのつながりの中で学び育つ学校づくり」「これからの時代、これからの門真に対応した学校づくり」「快適で楽しく過ごせる場としての学校づくり」という3つのコンセプトを踏まえて、将来の自分の生き方を見つげられる学校を実現します。

将来の自立を目指して自分の生き方を見つける教育



快適で楽しく過ごせる場としての学校づくり

人がつながり、みんなが楽しく過ごせる

門真が目指す小中一貫校づくりイメージ

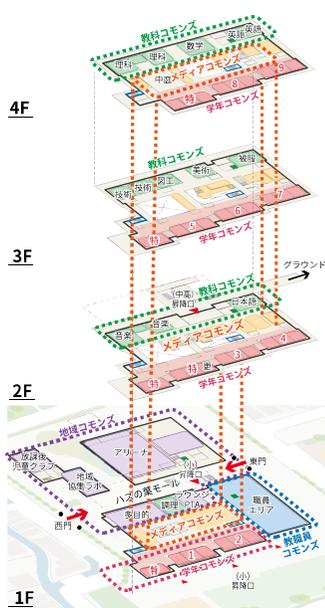
■施設コンセプト

・学びと交流の場となるメディアcommonsを中心に、5つのcommonsを配置します。

・5つのcommonsは児童生徒と教職員、地域が交流するコアとなり、学びの意欲と新しい発見を誘発する学校を実現します。



- メディアcommons
- 教科commons
- 学年commons
- 教職員commons
- 地域commons



メディアcommons

分散型のメディアコーナーや学びの場、展示や図書を配置し、少人数学習・調べ学習などが多様に展開します。

教科commons

メディアスペースを連続させた教科commonsにより分野横断的な学びを实践します。

学年commons

学年毎に教室、リキム、水回り等を持つ「学年ホム」を設け、連続動線のない学年のまとまりをつくり出します。

教職員commons

コミュニケーションできるラウンジやリフレッシュ空間、印刷室をまとめた教職員commonsは、多様な指導を支え、児童が気軽に立ち寄り相談しやすい場を生みます。

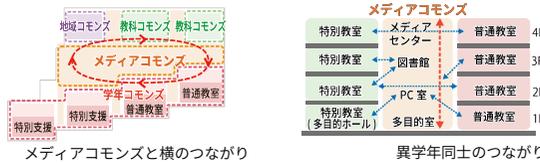
地域commons

地域協働ラボやラウンジなどをまとめた地域commonsは地域と協働し連携する活動拠点。

■基本設計における3つのコンセプト

1 縦と横のつながりを創る「メディアcommons」

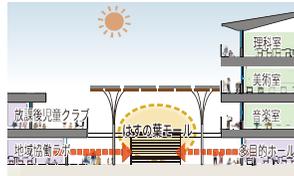
・メディアcommonsは、大階段と中間フロア、吹抜空間で構成され、4つのcommonsを水平・垂直方向につなぎます。異学年との出会いや多様な学び・活動・交流の場として計画します。



2 地域と学校をつなぐはすの葉モール

・敷地を東西に通る「はすの葉モール」を配置し、学校への主動線とします。モール沿いには地域協働ラボや地域開放施設を設け、学校と地域を結び、地域と学校の交流・協働の拠点として計画します。

・「はすの葉モール」はガラスと木組による屋根を架け、明るく木質化を図る空間とします。児童生徒に安らぎとあたたかみのある屋根の下で様々な活動・交流の場となり、新しい学校の象徴となります。



3 横のつながり学年ラウンジ

・発展段階や年齢に応じた独自の学習環境や生活環境となる、学年commonsを形成します。9年間の長きに渡る学校生活に変化を与えて学年進行の意識を高めます。各学年（学年commons）は3普通教室とオープンな学年ラウンジで構成し、学年のつながりを強めます。

